

令和5年度 議員研修会

演題

世界で加速する有機栽培の潮流に対する
日本の農業の現状について。
また、食の安全をどう確保するのか。

山田 正彦 講師

千葉県流山市議会

令和6年1月23日（火）午前10時

（於：流山市議会 議場）

講師プロフィール

弁護士、元農林水産大臣

山田 正彦 (やまだ まさひこ) 氏

【プロフィール】

1942年、長崎県生まれ。弁護士。早稲田大学第一法学部卒。

司法試験に合格後、故郷で牧場を開く。オイルショックにより牧場経営を終え、弁護士に専念。その後、衆議院議員に立候補し、4度目で当選。

2010年6月、農林水産大臣に就任。戸別所得補償制度を実現。

現在は種子法廃止、種苗法改定、食の問題に取り組んでいる。また学校給食を無償・オーガニック食材にするための運動にも注力。

【主な著書】

- 『TPP 秘密交渉の正体』 (竹書房新書)
- 『「日本漁業」大転換の時代—200 カイリに生きる』 (興陽館書店)
- 『輸入食品に日本は潰される —農水委員会理事、衝撃のレポート—』 (青萌堂)
- 『アメリカに潰される！日本の食—自給率を上げるのはたやすい！』 (宝島社)
- 『中国に「食」で潰される日本の行く末』 (青萌堂)
- 『小説 日米食糧戦争 —日本が飢える日—』 (講談社)
- 『「農政」大転換』 (宝島社)
- 『実名小説 口蹄疫レクイエム 遠い夜明け』 (ロングセラーズ)
- 『アメリカも批准できない TPP 協定の内容は、こうだった！』 (サイゾー)
- 『売り渡される食の安全』 (角川新書)
- 『子どもを壊す食の闇』 (河出新書)